スチーム・コンベクションオーブン「コンボスター」

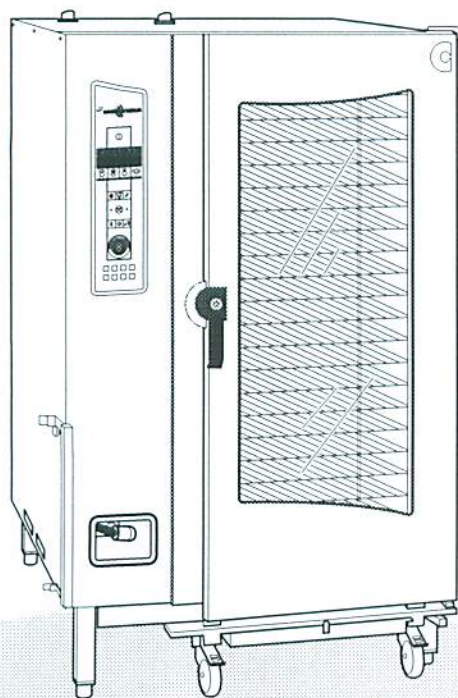
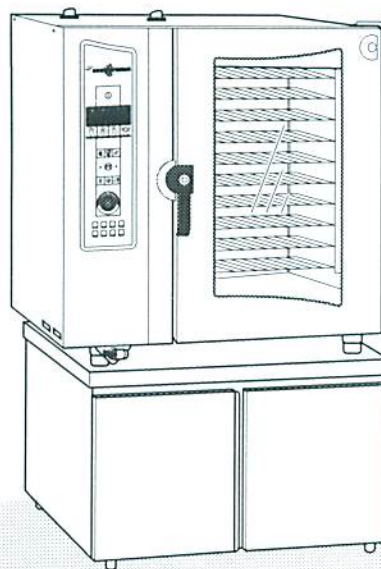
convostar

ー取扱説明書ー

お客様用

電気式

(スタンダードモデル)	(プレミアムモデル)
OES- 6.10	OEB- 6.10
OES- 6.20	OEB- 6.20
OES-10.10	OEB-10.10
OES-10.20	OEB-10.20
OES-12.20	OEB-12.20
OES-20.10	OEB-20.10
OES-20.20	OEB-20.20

(業務用)

OES-20.20

OES-10.10

- このたびは、当社のスチーム・コンベクションオーブン（OES、OEB）をお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しくご使用いただくために、お使いになられるまえにこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとは、いつも手元においてご使用ください。
- 保証書は、この取扱説明書の最終ページに記載されております。必ず「お買上げ日・お買上げ店名」等の記入をお確かめください。

保証書付

目　次

本機をお使いになる前に

安全上のご注意

●ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。

表示と意味は次のようになっています。

【注意喚起シンボルとシグナル表示の例】

⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害*の発生が想定される内容を示します。

＊物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

【図記号の例】

感電注意	△は、注意（警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の近くや中に絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
接触禁止	⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「直接手を触れないこと」を示します。
プラグを抜く	●は、行動の命令（強制）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差込みプラグをコンセントから抜く」を示します。

本機の使用にあたって必ず守ってください

⚠警告

●漏電遮断器または、サーキットブレーカーが『OFF（切）』に作動したときは、お買上げ店に連絡すること

無理にレバーを『ON（入）』にすると、感電や火災の原因になります。

●異常時は電源スイッチを切り、本機専用電源を『OFF（切）』にしてすぐにお買上げ店に連絡すること

異常のまま使用を続けると感電、火災の原因になります。

●ガス器具などからガスが漏れていたら、ガスの元栓を閉めて、窓を開けて換気すること

引火爆発し、危険です。

●修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理はおこなわないこと

異常動作をしてケガをしたり、修理に不備があると感電、火災の原因になります。

●改造は絶対におこなわないこと

改造をされると、水漏れや感電、火災の原因になります。

●移設は専門業者か、お買上げ店に相談すること

据え付け不備があると、水漏れ、感電、火災などの原因になります。

●廃棄は専門業者か、お買上げ店に依頼すること

放置しますと、幼児などがケガをする原因になります。

⚠注意

●**本機の周囲にフライヤー、グリルなど発熱する機器は置かないこと**

電気部品に負担がかかり、故障、火災の原因になります。

●**可燃性のスプレーを近くで使用したり、近くに可燃物を置かないこと**

発火の原因になることがあります。

●**ドアにぶらさがったり、乗ったりしないこと**

製品転倒によるケガの原因になります。

●**点検するときは、必ず電源スイッチを切って、本機専用電源も『OFF（切）』にすること**

感電したり、ケガの原因になることがあります。

●**作業終了後は、安全のため電源スイッチを切って、本機専用電源も『OFF（切）』にすること**

発熱、発火の原因になることがあります。

●**漏電遮断器は月に１回、動作確認すること**

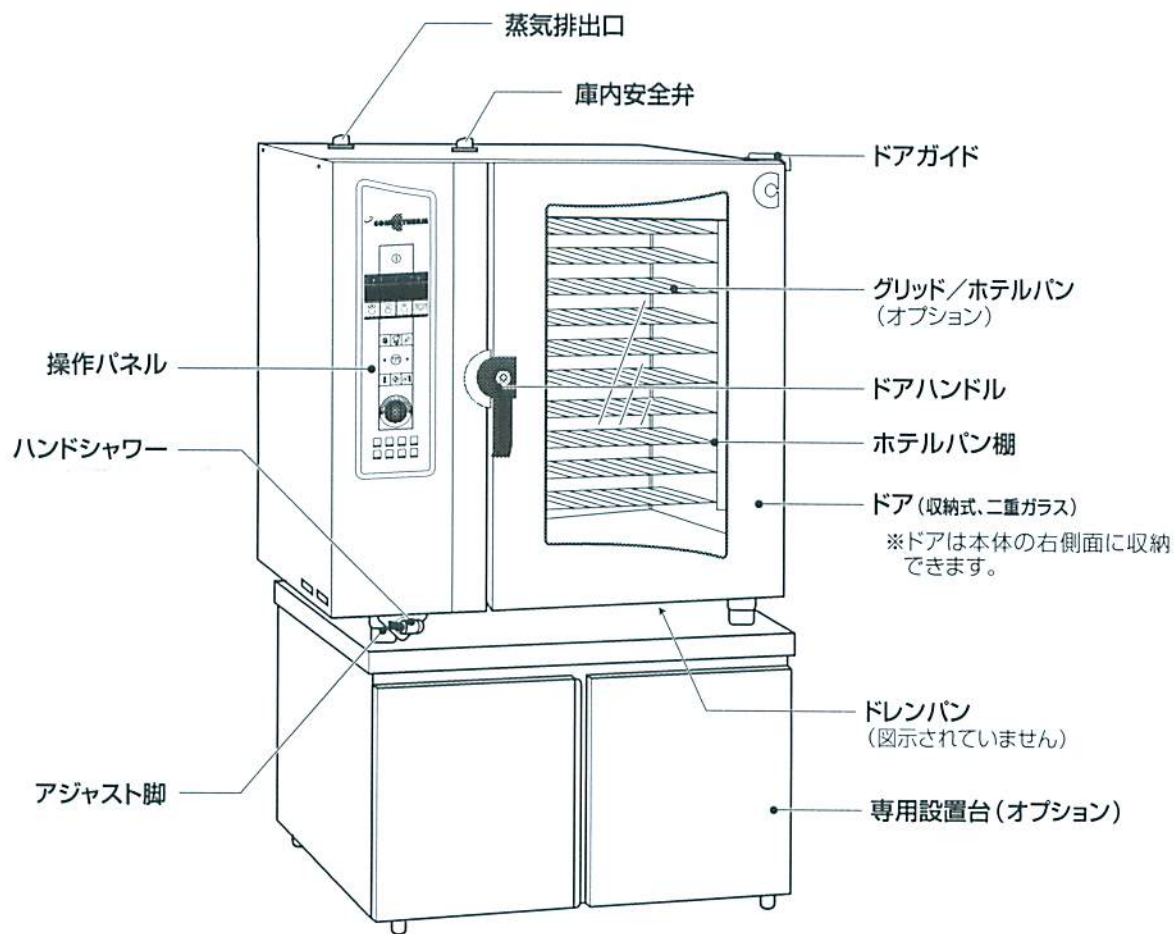
漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になることがあります。

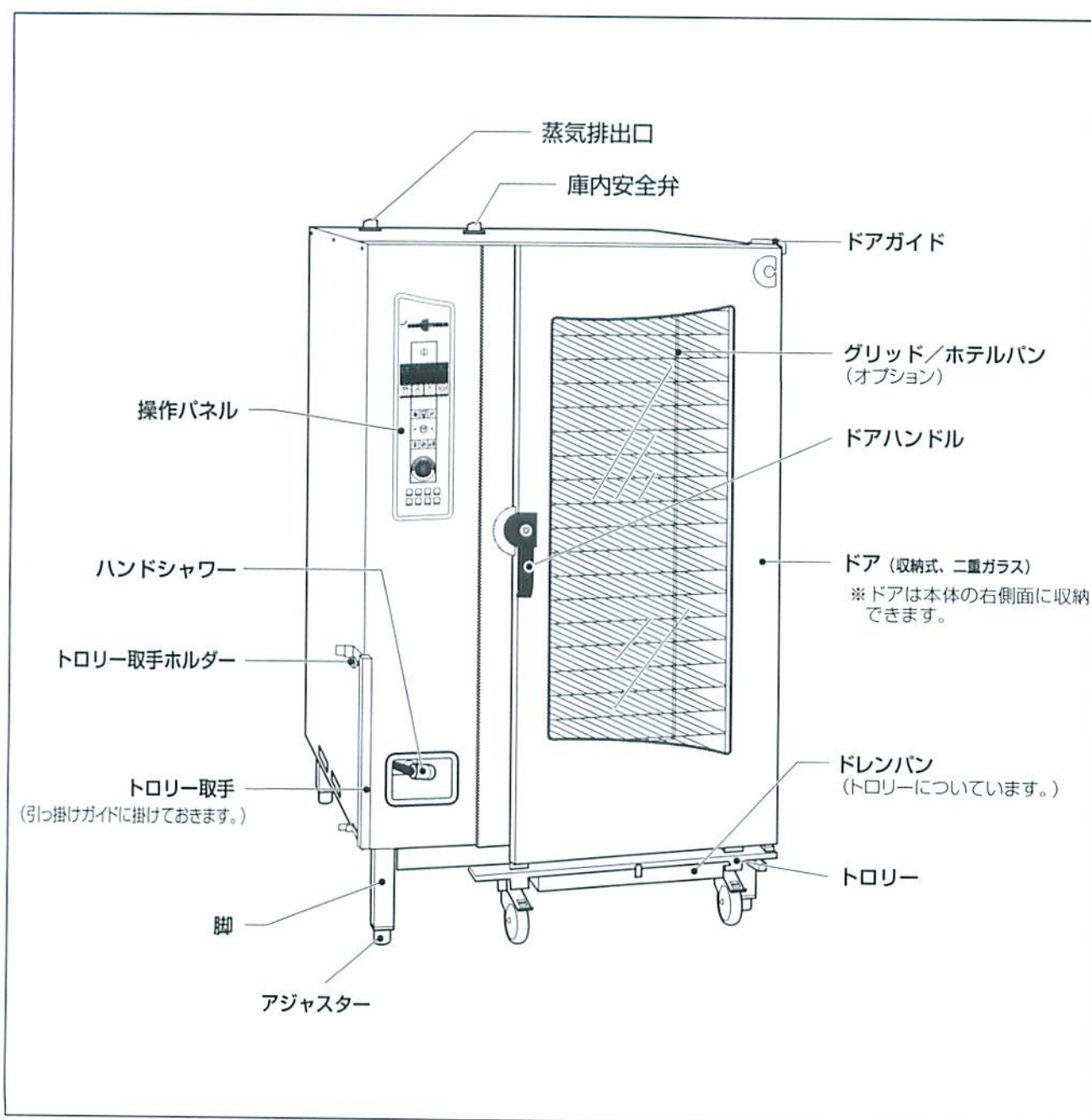
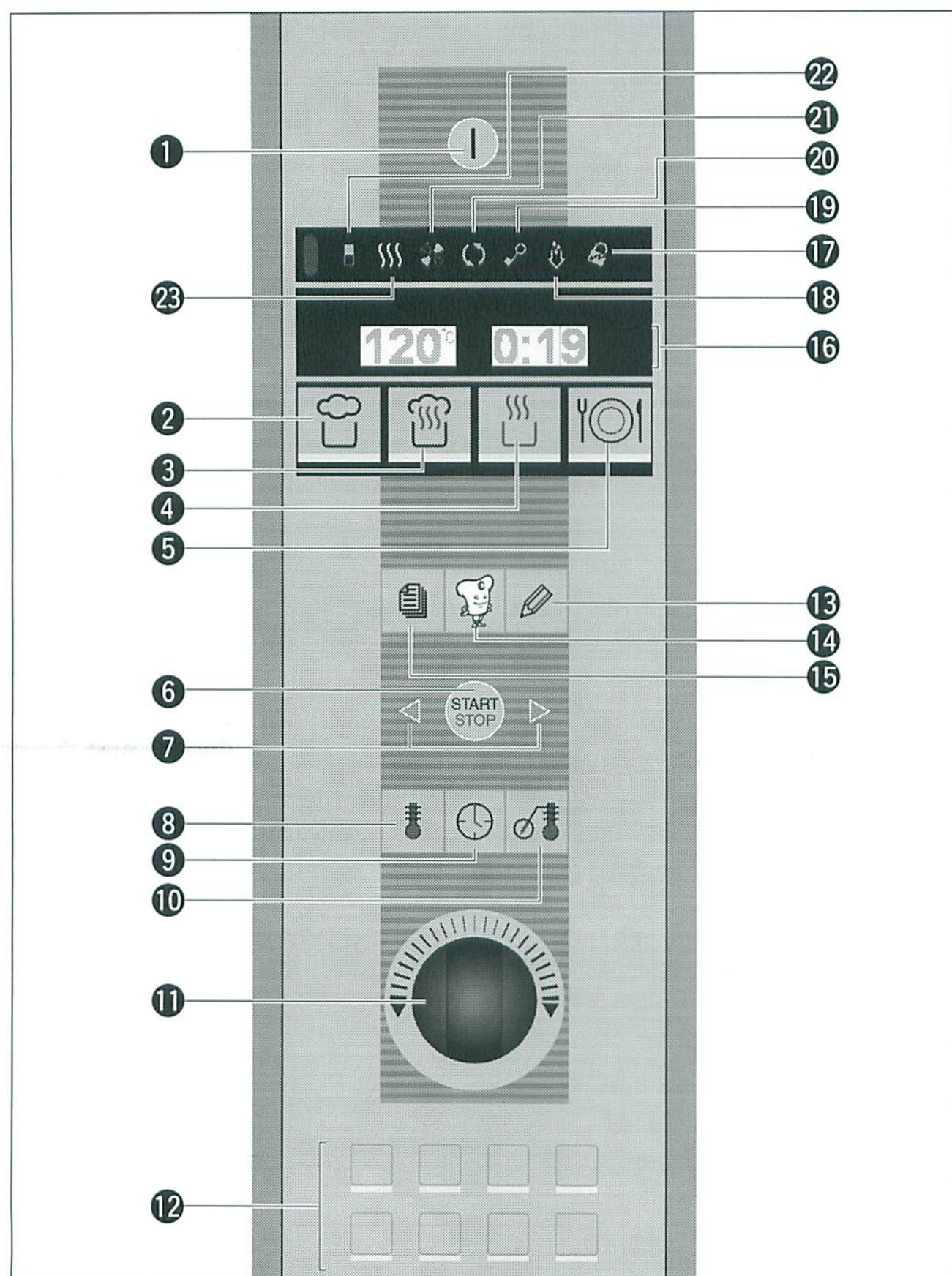
●**本機を他に売ったり、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つ所にテープ止めすること**

1 各部の名称とはたらき

本機は、食材を蒸気または熱風で加熱調理する機械です。

卓上タイプ

図はOES-10.10

大型（トロリータイプ）

図はOES-20.20

操作スイッチパネル

電源スイッチと調理モードスイッチ

❶ **電源スイッチ**
本機の電源をオン/オフします。

❷ **蒸気モードスイッチ**

❸ **コンビネーションモードスイッチ**

❹ **熱風モードスイッチ**

❺ **再加熱モードスイッチ**

❻ **スタート/ストップスイッチ**
調理プログラムをスタート/ストップします。

設定部

❼ **左右スクロールスイッチ**
設定値の変更や項目の選択に使用します。

❽ **庫内温度設定スイッチ**

❾ **調理時間設定スイッチ**

❿ **芯温設定スイッチ**

⓫ **設定ダイヤル**
設定値の変更や項目の選択に使用します。

クックブックとMr.C

⓬ **Press & Go（プレス&ゴー）スイッチ**
クックブックに保存してあるレシピや、オプションのスーパークリーン搭載モデルなどよく使うものを登録して使用できます。

⓭ **編集/書き込みスイッチ**
クックブックの編集/書き込みを行います。

⓮ **Mr.Cスイッチ**
便利な機能の設定に使用します。

⓯ **クックブックスイッチ**
クックブックの呼び出しを行います。

ディスプレイパネル

⓰ **マルチディスプレイ**
各種設定および現状の数値が表示されます。

⓱ **プログラム保護表示**
プログラム保護機能がオンのときに点灯します。

⓲ **Crisp & Tasty（クリスプ&テイスティ）表示**
クリスプ&テイスティを設定すると、点灯します。

⓳ **キーロック表示**
キーロック機能をオンにすると、点灯します。

⓴ **動作中表示**
調理中など何らかの動作中に点灯します。

㉑ **ファン低速表示**
庫内ファンの回転速度を減速に設定すると、点灯します。

㉒ **電力低減表示**
電力低減運転に設定すると、点灯します。

㉓ **加熱表示**
調理中に点灯します。

操作時の注意事項

本機の操作時には必ず守ってください

⚠警告

●屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電、感電の原因になります。

屋外禁止

●機械内部の電気装置や配線に触らないこと

やけどや感電の恐れがあります。

接触禁止

●使用中は、本体の外側も高温になるので、取手や操作部以外には触れないこと

やけどの原因になります。

接触禁止

●濡れた手で各スイッチを操作しないこと

感電の原因になることがあります。

濡手禁止

●調理後、ドアを開ける時は、一気に開けずに徐々に開けること

ドアを開けた時、自動的にモーターブレーキが作動してファンが停止しますので、熱や蒸気が大量に流出することはありませんが、安全のためドアは一気に開けないでください。

高温

●ホテルパンの取り扱いは、素手でおこなわないこと

ケガおよびやけどの原因になります。

素手禁止

●スイッチは、先の尖ったもので押さないこと

破損による感電、漏電の原因になります。

禁止

●芯温センサー（CTCセンサー）を使用する前は、アルコール（エタノール）で消毒すること

雑菌が繁殖し、健康障害の原因になることがあります。

消毒

⚠注意

●排水ホースに詰まりがないか始業時に点検をおこなうこと

排水ホースが詰まると、漏水から周囲を濡らす原因になることがあります。

排水点検

●庫内ファンが回転中は、ファンカバーの隙間から、箸、スプーンなどを入れないこと

ケガや故障の原因になります。

挿入禁止

●ハンドシャワーを使用するときは、両手でしっかりと持ち、収納する際はゆっくり戻すこと

巻き取りの力により、ケガをしたり、破損する恐れがあります。

両手で持つ

●作業終了後は、水道の元栓を閉めておくこと

万一、配管部分やハンドシャワーホース部分が破損などにより水漏れが発生した場合、周囲を濡らす原因になり、水が電気部品にかかり、感電、故障の原因になることがあります。

水道栓閉

●終業後は、ドアを開けたままにしないこと

ネズミなどが入り込むことがあります。

開放禁止

●トロリータイプでプリヒーティング後および調理後、トロリーを庫内から取り出す際は、素手で触れないこと

やけどの原因になります。

接触禁止

●トロリータイプでトロリーにホテルパンをセットして使用する際は、トロリーの前後（各１本）にあるホテルパンストッパーを掛けること

トロリーを移動する際、ホテルパンが落下してケガの原因になることがあります。

ストッパーロック

●トロリータイプでトロリーを移動させる時以外は、キャスターストッパーをかけて、ロックしておくこと

トロリーが勝手に動いて他の物に接触し、ケガ、故障の原因になることがあります。

ストッパーロック

2 操作の流れ

使用前の準備

●使用前の準備については、「使用前の準備」を参照してください。

調理する

●調理の方法については、「調理手順の概要」を参照してください。

使用後のクリーニング

●使用後のクリーニングの方法については、「クリーニングについて」を参照してください。

電源を切る

1 操作スイッチパネルにある[電源スイッチ]ⓘを押して、オフにします。

マルチディスプレイに現在の時刻と日付が表示されます。

2:49pm 2006.08.10

作業の終わり方

1 本機専用電源を「OFF（切）」にします。

2 水道の元栓を閉じます。

3 使用前の準備

電源を入れる前に

1 水道の元栓を開けます。

水道栓が開いているか確認してください。

2 本機専用電源（漏電遮断器付サーキットブレーカー）を「ON（入）」にします。

しばらくすると、マルチディスプレイに現在の時刻と日付が表示されます。

2:51pm 2006.08.10

本機の電源を入れる

1 操作スイッチパネルの［電源スイッチ］⓪ を押して「ON（入）」にします。

●庫内ランプが点灯します。
●熱風調理モード以外の調理モードをスタートさせた時、水不足または水圧が低すぎる（0.1MPa以下）場合は、エラー「E01」を表示し、ブザーが鳴ります。
この場合は給水時に水道圧力が0.1MPa以上になるように設備側を調整し、その後再度，電源を入れ直してください。

2 1日に1度、必ず蒸気発生タンクの洗浄をおこないます。（対象機種：OEB）

1日に1度だけ、電源スイッチを入れたときに右図のようなメッセージがマルチディスプレイに表示されます。何も操作をおこなわないで10秒経過すると、蒸気発生タンクの自動洗浄が開始されます。自動洗浄は約7分で終わります。

表示画図が切り替わってから約30秒（給水時間）待って調理を開始してください。

OEBモデルの蒸気発生タンク洗浄後、ボイラータンクに給水が完了するまでに調理スタートボタンを押すと「E01水不足エラー」表示が出ます。「E01水不足エラー」が出たときは電源を入れなおしてください。

❶ 蒸気発生タンクの洗浄を自動でおこなう場合は「yes」を、おこなわない場合は10秒以内に「no」を選択してください。
「yes」「no」の選択は、[左右スクロールスイッチ] ◁、▷ または [設定ダイヤル] を使用してください。
蒸気タンクは1日に1度、洗浄をおこなう必要があります。「no」を選択した場合は、終業後、[Mr.C スイッチ] のメニューから蒸気発生タンクの洗浄をおこなってください。洗浄の方法については、「クリーニングについて」を参照してください。

❷ [スタート/ストップスイッチ] を押してください。
蒸気発生タンクの自動洗浄が開始されます。自動洗浄は、水抜き、洗浄、給水の順でおこなわれ、約7分かかります。

SG センジョウ
オマチクダサイ

注意！

毎日洗浄をおこなわないと蒸気発生タンク内にスケールが残り、ヒーター不良および蒸気発生タンクポンプの故障の原因になります。

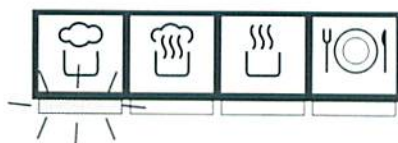
3 スタンバイ（調理可能）状態になります。

❶ ●OESは、電源スイッチを入れるとすぐにスタンバイ状態になります。

●OEB（蒸気発生タンク付モデル）は、蒸気発生タンクへの給水が完了するとスタンバイ状態になります。その後、蒸気発生タンクの水は88℃まで加熱されます。蒸気を使用しない「熱風モード」では、蒸気発生タンクの加熱を待たずに調理を開始できます。蒸気を使用する「蒸気モード」「コンビネーションモード」「再加熱モード」では、１日の最初の使用では庫内に蒸気が発生するまでに数分かかります。

❷ 前回終了時の調理モードスイッチが点灯して、マルチディスプレイに設定値が表示されます。設定値は、各調理モードのプリセット値（工場出荷値）または前回の最後に実行した設定値のどちらかが表示されます。どちらが表示されるかについては、「調理モードのプリセット/メモを変更する」を参照してください。

100℃ 0:30

調理手順の概要

ここでは、基本的な調理手順と、おもに［Mr. Cスイッチ］に備えられている便利な機能について簡単に説明します。

各調理モードを使用する

●調理モードには、「蒸気」「コンビネーション」「熱風」「再加熱」の4つのモードがあります。
●蒸気モードは、設定温度によって「低温蒸気」「蒸気（固定）」「高温蒸気」の3つのモードがあります。
●コンビネーションモードは、熱風と蒸気を交互に使用して調理します。
●調理モードの詳細については、「第5章　各調理モードを使用する」を参照してください。

1 ［電源スイッチ］を押して「ON（入）」にします。

スタンバイ（調理可能）状態になります。前回終了時の調理モードスイッチが点灯して、マルチディスプレイに設定値が（庫内温度、調理時間）が表示されます。

2 熱風モードを使用する場合は、プリヒーティング（予熱）をおこないます。

プリヒーティングについては、「プリヒーティング（予熱）機能を使用する」を参照してください。

3 ドアを開けます。

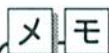
ドアを90°開いて、本体の右側面に押し込んでください。

4 調理物を庫内に入れ、ドアを閉めます。

ドアを閉め、ドアハンドルを時計方向に回し、しっかりとロックしてください。

5 希望の調理モードスイッチを押します。

：蒸気モードスイッチ　　：熱風モードスイッチ
：コンビネーションモードスイッチ　　：再加熱モードスイッチ

メモ

調理物が少量の場合、庫内上段や下段にかためて入れず、均等になるように入れてください。

6 庫内温度を設定します。

［庫内温度設定スイッチ］を押し、左右の［スクロールスイッチ］◁、▷または［設定ダイヤル］を使って庫内温度を設定してください。

● 庫内温度がプリセット値通りでよければ、設定する必要はありません。

7 調理時間または芯温を設定します。

●調理時間を使用する場合は、［調理時間設定スイッチ］を押して調理時間を設定してください。
●芯温で使用する場合は、［芯温設定スイッチ］を押して芯温を設定してください。

● 調理時間、または芯温がプリセット値通りでよければ、設定する必要はありません。

8 [スタート/ストップスイッチ] (Start Stop) を押します。

選択した調理モードで調理が開始されます。

9 調理プログラム実行中に各設定値を変更する場合。

変更したい設定のスイッチ（[庫内温度設定スイッチ] 🌡、[調理時間設定スイッチ] ⏱、または[芯温設定スイッチ] ⌀1）を押し、左右の [スクロールスイッチ] ◁、▷ または [設定ダイヤル] を使って設定値を変えてください。

10 調理プログラムが終了します。

設定した調理時間または芯温に達すると、ブザーが鳴り調理プログラムが終了します。[スタート/ストップスイッチ] (Start Stop) を押すか、ドアを開くとブザーが止まります。

11 ドアを開け、調理物を庫内から取り出します。

できあがった調理物を庫内から取り出す際は、ホテルパンやグリッドが熱くなっていますので、やけどをしないよう保護手袋などを着用して取り出してください。

注意！

芯温センサーを使って調理をした場合は、芯温センサーを抜いてから調理物を取り出してください。（トロリータイプの場合、芯温センサーを抜いてからトロリーを引き出してください。）調理物に芯温センサーをつけたままホテルパンやトロリーを取り出すと、芯温センサーの破損の原因になります。

12 [電源スイッチ] ⓘ を押して「OFF(切)」にします。

⚠
- **調理中または調理終了時のドアの開閉には十分注意してください。庫内から熱風や蒸気が吹き出してやけどをする原因になることがあります。**
- **芯温センサーは庫内で高温にさらされているため、センサーおよびコード部分が高温になります。芯温センサーをさわる場合には、やけどに注意してください。**

メモ

本機のドアには磁気ドアスイッチが装備されています。このため、調理プログラム実行中にドアを開けると、自動的に調理プログラムが中断され、再びドアを閉めると調理プログラムを継続します。
調理時間による調理の場合は、ドアを開けている間カウントダウンをおこないません。また、調理プログラム終了時にドアを開くと、ブザーが止まります。

クックブックを使用する

●クックブックには、調理プログラムをレシピとして登録しておくことができます。
●登録したレシピはいつでも呼び出して実行することができます。
●クックブックの詳細については、「第6章　クックブックを使用する」を参照してください。

1 [電源スイッチ] を押して「ON(入)」にします。

スタンバイ(調理可能)状態になります。

2 熱風モードを使用する場合は、プリヒーティング(予熱)をおこないます。

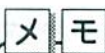
プリヒーティングについては、「プリヒーティング（予熱）機能を使用する」を参照してください。
(レシピにプリヒーティングが組み込まれている場合は必要ありません。)

3 ドアを開けます。

ドアを90°開いて、本体の右側に押し込んでください。

4 調理物を庫内に入れ、ドアを閉めます。

レシピにプリヒーティングが組み込まれている場合は、プリヒーティング終了後に調理物を入れてください。
ドアを閉め、ドアハンドルを時計方向に回し、しっかりとロックしてください。

メモ

調理物が少量の場合、庫内上段や下段にかためて入れず、均等になるように入れてください。

5 [クックブックスイッチ] を押します。

登録されているレシピが表示されます。

6 [設定ダイヤル] を使って、レシピを選択します。

7 [スタート/ストップスイッチ] を押します。

レシピに登録されている調理プログラムが第1ステップから順番に実行されます。
(レシピにプリヒーティングが組み込まれている場合は、プリヒーティング終了後調理物を入れ、ドアを閉めてください。自動的に調理がスタートします。)

8 調理プログラムが終了します。

すべてのステップが終了すると、ブザーが鳴ります。［スタート/ストップスイッチ］(Start Stop) を押すか、ドアを開くとブザーが止まります。

9 ドアを開け、調理物を庫内から取り出します。

できあがった調理物を庫内から取り出す際は、ホテルパンやグリッドが熱くなっていますので、やけどをしないよう保護手袋などを着用して取り出してください。

注意！

芯温センサーを使って調理をした場合は、芯温センサーを抜いてから調理物を取り出してください。（トロリータイプの場合、芯温センサーを抜いてからトロリーを引き出してください。）調理物に芯温センサーをつけたままホテルパンやトロリーを取り出すと、芯温センサーの破損の原因になります。

10 ［電源スイッチ］(I) を押して「OFF（切）」にします。

⚠
- 調理中または調理終了時のドアの開閉には十分注意してください。庫内から熱風や蒸気が吹き出してやけどをする原因になることがあります。
- 芯温センサーは庫内で高温にさらされているため、センサーおよびコード部分が高温になります。芯温センサーをさわる場合には、やけどに注意してください。

便利な機能について

- 業務の効率アップのため、本機には便利な機能を備えています。
- 便利な機能は、おもに［Mr. Cスイッチ］を押すと表示されるアイコンを選択して使うことができます。（詳しくは「第7章　便利な機能について」を参照してください。）

［Mr. Cスイッチ］を使用する「便利な機能」

メニューアイコン	名　称	説　明	選択可能な調理モード	レシピへの組み込み
	プリヒーティング（予熱）	プリヒーティング（予熱）を設定、実行します。	・全ての調理モード	可能
	Crisp & Tasty（クリスプ & テイスティ）	スーパーヒーテッドスチームモード及び熱風モードで調理する際に、庫内の余分なスチームを除去します。調理物に応じて3段階の除去能力が設定できます。	・コンビネーションモード ・熱風モード	可能
	デルタTクッキング	庫内と調理物の温度差を一定に保つデルタTクッキングを設定、実行します。	・全ての調理モード	可能
cook & hold	クック & ホールド	調理の終了後、庫内を保温モードにして調理物を保温しておきます。（この機能は、レシピをクックブックに登録しないと使用できません。）	・全ての調理モード	可能
	オーバーナイトクッキング	時間のかかる調理を夜間におこなうことができます。		（クックブックに登録）
	アドモイスチャー	調理中に庫内を加湿することができます。	・コンビネーションモード ・熱風モード	不可
	ファン低速	庫内ファンの回転速度を減速します。風圧に弱い食材を調理する時に使います。	・全ての調理モード	可能
	電力低減	消費電力を1/2にして動作します。	・全ての調理モード	
	キーロック	スイッチ（特定のスイッチを除く）をロックできます。	・全ての調理モード	
	プログラム保護	エネルギー最適化システムが接続されている場合、供給電力ストップから保護します。	・全ての調理モード	可能
	トレイタイマー	同時に複数の種類の調理をおこなう際、それぞれの調理が終了するごとにタイマーでお知らせします。	・全ての調理モード	不可

	クリーニング	自動クリーニングプログラムを実行します。 (この機能の詳細は第9章「クリーニングについてを参照してください。」)		(クックブックに登録)
	スーパークリーン (オプション)	コンボクリーンシステムを搭載している場合、庫内の自動洗浄をおこないます。 (この機能の詳細は別冊の「スーパークリーンシステム」マニュアルを参照してください。)		(クックブックに登録)
	蒸気発生タンク	蒸気発生タンクを手動洗浄します。 (自動洗浄NO選択時)[対象機種:OGB] (この機能の詳細は「第9章　クリーニングについて」を参照してください。)		
	セットアップ	本機の初期値を設定します。 「セットアップ」の下には、サブメニューアイコンがあります。 (この機能の詳細は「第8章　初期設定値の変更について」を参照してください。)		

※各調理モードで調理中にMr.Cスイッチを押すと、それぞれに選択可能なメニューアイコンが表示されます。
※レシピへの組み込みが可能な機能は、調理ステップのひとつとしてレシピに登録することができます。
※「クックブックに登録」の機能は、工場出荷時にあらかじめプログラムを登録してあります。

その他の「便利な機能」

● [Mr. Cスイッチ] を使用しない便利な機能です。

名　称	説　明	選択可能な調理モード
スタート時間タイマー	前もって設定した調理プログラムを希望の時間に自動的にスタートさせます。	・全ての調理モード
プログラムシーケンス (複数ステップ調理)	クックブックにレシピを登録せずに、複数の調理ステップをおこなうことができます。	・全ての調理モード

5 各調理モードを使用する

ここでは、「蒸気」「コンビネーション」「熱風」「再加熱」の基本調理モードの使用法と、「芯温コントロール」機能と、「トロリーについて」「エラーメッセージについて」の説明をします。

各調理モードの特長

基本の調理モードには、「蒸気」「コンビネーション」「熱風」「再加熱」の４つのモードがあります。

蒸気モード

- 庫内温度は、30℃～120℃の間で無段階に設定できます。
- 蒸気(固定)モード：庫内温度が100℃では蒸気（固定）モードとなり、庫内を無圧の飽和蒸気で保ちます。蒸しムラがなく、色鮮やかに仕上がり、栄養分が流出しません。
- 低温蒸気モード：庫内温度が30℃～99℃では低温蒸気モードとなり、低い温度で正確な加熱が必要なデリケートな調理や真空調理に最適です。
- 高温蒸気モード：庫内温度が101℃～120℃では高温蒸気モードとなり、調理時間の短縮ができます。一度に大量の蒸し調理を行う場合に最適です。
- 蒸し、湯がき、ポーチ（沸騰しない程度の湯の中で茹でる）に適しています。

コンビネーションモード

- 庫内温度は、100℃～250℃の間で無段階に設定できます。
- 蒸気と熱風が交互に切り換わり、庫内を常に適切な蒸気で保つことができます。
- ローストやケーキを焼くのに適しています。

熱風モード

- 庫内温度は、30℃～250℃の間で無段階に設定できます。
- 蒸気を必要としないローストやケーキ、菓子などに適しています。

再加熱モード

- 庫内温度は、120℃～160℃の間で無段階に設定できます。
- 庫内を常に適切な蒸気で保つことができます。
- 皿に盛られた調理済みの料理を短時間で再加熱できます。

※調理モードに「便利な機能(P17参照)」を組み合わせることにより、業務の効率アップになります。

調理モードと使用可能範囲

	調理モード			使用可能範囲			プリヒーティング最高設定温度	プリセット値		
	調理モード		日本語表示	庫内温度	調理時間	芯温		庫内温度	調理時間	芯温
1	蒸 気		スチーム	30~120°C	1分~9時間59分 (連続可能) 無制限 (表示−：−−)	20~99°C	無し	100°C	25分	70°C
		低温蒸気		30~99°C						
		蒸気(固定)		100°C						
		高温蒸気		101~120°C						
2	コンビネーション		コンビスチーム	100~250°C	1分~9時間59分 (連続可能) 無制限 (表示−：−−)	20~99°C	無し	150°C	70分	70°C
3	熱 風		ホットエアー	30~250°C	1分~9時間59分 (連続可能) 無制限 (表示−：−−)	20~99°C	250°C	170°C	30分	70°C
4	再 加 熱		サイカネツ	120~160°C	1分~9時間59分 (連続可能) 無制限 (表示−：−−)	20~99°C	無し	135°C	5分	70°C

追記： 1. 調理時間に連続モード有り。
2. 庫内ファンのON/OFF断続運転温度　30~99°C

※ 蒸気使用による調理中、蒸気は庫内に充満されていますが、ドアを開けると蒸気が逃げ、ドアを閉めても、再度庫内に蒸気が充満するまでしばらく時間がかかります。

各調理モードを使用する

- 調理モードを選択します。
- 庫内温度を設定します。
- 調理時間または芯温を設定します。
- 調理プログラムは、設定した調理時間または芯温に達した時点で終了します。

1 スタンバイ状態になっていることを確認します。

マルチディスプレイに現在の調理モードの設定値が表示されています。

2 熱風モードを使用する場合は、プリヒーティング(予熱)をおこないます。

プリヒーティングについては、「プリヒーティング（予熱）機能を使用する」を参照してください。

3 調理物を庫内に入れます。

4 希望の［調理モードスイッチ］、、、を押します。

ディスプレイに設定値（庫内温度と調理時間）が表示されます。

100°C 1:10

5 庫内温度を設定します。

❶ [庫内温度設定スイッチ] を押してください。
庫内温度表示部分が反転表示になります。

100℃ 1:10
↓
160℃ 1:10

❷ [左右スクロールスイッチ] ◁、▷ または [設定ダイヤル] を使用して、庫内温度を設定してください。

- 庫内温度がプリセット値通りでよければ、設定する必要はありません。

6 調理時間を使用する場合は、以下の操作をおこないます。

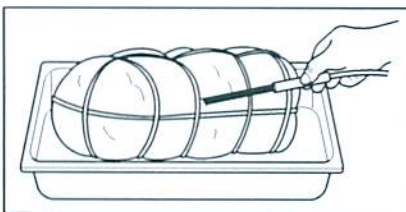
❶ [調理時間設定スイッチ] を押してください。
調理時間表示部分が反転表示になります。

160℃ 1:10
↓
160℃ 1:20

❷ [左右スクロールスイッチ] ◁、▷ または [設定ダイヤル] を使用して、調理時間を設定してください。
調理時間を9時間59分以上の設定にすると、連続モードになります。

- 調理時間がプリセット値通りでよければ、設定する必要はありません。

7 芯温を使用する場合は、以下の操作をおこないます。

❶ 芯温センサーを調理物の中心部に差し込んでください。
＊使用前に芯温センサーをアルコール消毒してください。

❷ [芯温設定スイッチ] を押してください。
芯温表示部分が反転表示になります。

❸ [左右スクロールスイッチ] ◁、▷ または [設定ダイヤル] を使用して、芯温を設定してください。

- 芯温がプリセット値通りでよければ、設定する必要はありません。

8 [スタート/ストップスイッチ] を押します。

調理プログラムが開始されます。庫内温度設定値と、残りの調理時間または現在の芯温がディスプレイに表示されます。
現在の残り調理時間または芯温がアウトライン文字(右図のような文字)で表示されます。

160℃ 0:59

調理時間を設定した場合

160℃ 15℃

芯温を設定した場合

9 調理プログラム実行中に各設定値を変更する場合。

変更したい設定のスイッチ（[庫内温度設定スイッチ]、[調理時間設定スイッチ]、または［芯温設定スイッチ］）を押し、反転表示されたら左右の［スクロールスイッチ］◁、▷または［設定ダイヤル］を使って設定値を変えてください。

10 現時点の庫内温度や芯温を見る場合。

［庫内温度設定スイッチ］または［芯温設定スイッチ］を2回押してください。現在の数値がアウトライン文字（右図のような文字）で表示されます。

庫内温度を見た場合

11 調理プログラムが終了します。

設定した調理時間または芯温に達すると、調理プログラムが終了しブザーが鳴ります。
ブザーを止めるには、［スタート/ストップスイッチ］を押すか、ドアを開けてください。

12 調理物を庫内から取り出します。

注意！

芯温センサーを使って調理をした場合は、芯温センサーを抜いてから調理物を取り出してください。（トロリータイプの場合、芯温センサーを抜いてからトロリーを引き出してください。）調理物に芯温センサーをつけたままホテルパンやトロリーを取り出すと、芯温センサーの破損の原因になります。

⚠
- 調理中または調理終了時のドアの開閉には十分注意してください。庫内から熱風や蒸気が吹き出してやけどをする原因になることがあります。
- 芯温センサーは庫内で高温にさらされているため、センサーおよびコード部分が高温になります。芯温センサーをさわる場合には、やけどに注意してください。

メモ

- 調理時間モードで調理中に芯温を調べたいときは、［調理時間設定スイッチ］を押しながら［芯温設定スイッチ］を押してください。マルチディスプレイに現在の芯温が表示されます。
- 熱風モードで調理するときは、必ずプリヒーティングをおこなってください。プリヒーティングについては、「プリヒーティング(予熱)を使用する」を参照してください。

芯温コントロールを使用する

- 調理物の中心部の温度を測ることによって調理をおこないます。
- 各調理モードで使用できます。
- 芯温は、20℃～99℃の間で無段階に設定できます。
- 肉の焼き調理に適しています。

1 スタンバイ状態になっていることを確認します。

マルチディスプレイに現在の調理モードの設定値が表示されます。

2 熱風モードを使用する場合は、プリヒーティング(予熱)をおこないます。

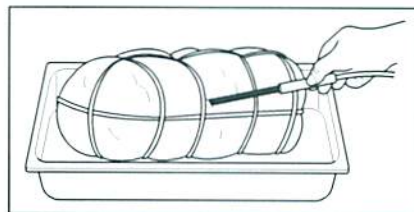
プリヒーティングについては、「プリヒーティング（予熱）機能を使用する」を参照してください。

3 調理物を庫内に入れます。

メモ

調理物が少量の場合、庫内上段や下段にかためて入れず、均等になるように入れてください。

4 芯温センサーを調理物の中心部に差し込みます。

芯温センサーは、使用前にアルコール消毒してください。

5 希望の［調理モードスイッチ］、、、を押します。

ディスプレイに設定値（庫内温度と調理時間）が表示されます。

100℃ 1:00

6 庫内温度を変更する場合は、以下の操作をおこないます。

❶［庫内温度設定スイッチ］を押してください。
庫内温度表示部分が反転表示になります。

❷［左右スクロールスイッチ］◁、▷ または［設定ダイヤル］を使用して、庫内温度を設定してください。

- 庫内温度がプリセット値通りでよければ、設定する必要はありません。

7 芯温を変更する場合は、以下の操作をおこないます。

❶ [芯温設定スイッチ] を押してください。
芯温表示部分が反転表示になります。

❷ [左右スクロールスイッチ] ◁、▷ または [設定ダイヤル] を使用して、芯温を設定してください。

- 庫内温度がプリセット値通りでよければ、設定する必要はありません。

8 [スタート/ストップスイッチ] を押します。

調理プログラムが開始されます。庫内温度設定値と、現在の芯温がディスプレイに表示されます。

160°C 15°C

9 調理プログラム実行中に各設定値を変更する場合。

変更したい設定のスイッチ（[庫内温度設定スイッチ] 、または [芯温設定スイッチ] を押し、反転表示されたら [左右スクロールスイッチ]◁ 、▷ または [設定ダイヤル] を使用して設定値を変えます。

10 現時点の庫内温度を見る場合。

[庫内温度設定スイッチ] を2回押してください。現在の数値がアウトライン文字（右図のような文字）で表示されます。

110°C 40°C

11 現時点の経過時間を調べる場合。

[芯温設定スイッチ] を押しながら [調理時間設定スイッチ] を押してください。ディスプレイに経過時間が表示されます。

12 設定した調理時間または芯温に達すると、調理が終わりブザーが鳴ります。

ブザーを止めるには、[スタート/ストップスイッチ] を押すか、ドアを開けてください。

13 調理物を庫内から取り出します。

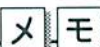
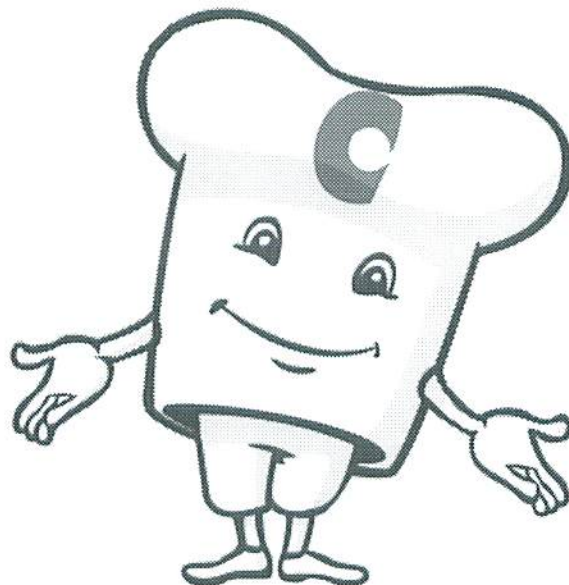
調理物から芯温センサーを抜き取ってください。

注意！

芯温センサーを使って調理をした場合は、芯温センサーを抜いてから調理物を取り出してください。（トロリータイプの場合、芯温センサーを抜いてからトロリーを引き出してください。）調理物に芯温センサーをつけたままホテルパンやトロリーを取り出すと、芯温センサーの破損の原因になります。

⚠

●調理中または調理終了時のドアの開閉には十分注意してください。庫内から熱風や蒸気が吹き出してやけどをする原因になることがあります。

●芯温センサーは庫内で高温にさらされているため、センサーおよびコード部分が高温になります。芯温センサーをさわる場合には、やけどに注意してください。

芯温調理完了時間表示はできません。オプションのHACCPキットを使用されますと、温度データがグラフとしてパソコンに表示や管理、PC上でのメニュー作成などができます。

トロリーについて

OES/OEB-12.20、20.10、20.20には、トロリーがついています。
トロリータイプを据え付ける床面が、水平であることを確認してください。水平でないと、トロリーが本体にスムーズに収納できない場合やドアが完全に閉まらず、蒸気漏れの原因になることがあります。

操 作 方 法

❶ 機械（トロリータイプ）のドアを開けてください。

❷ トロリーの取手引掛具に、付属のトロリー取手（工場出荷時は、トロリーの下部にテープで止め付けてあります）を引っ掛けて手前に引き出してください。

❸ トロリー取手をいったん外してください。

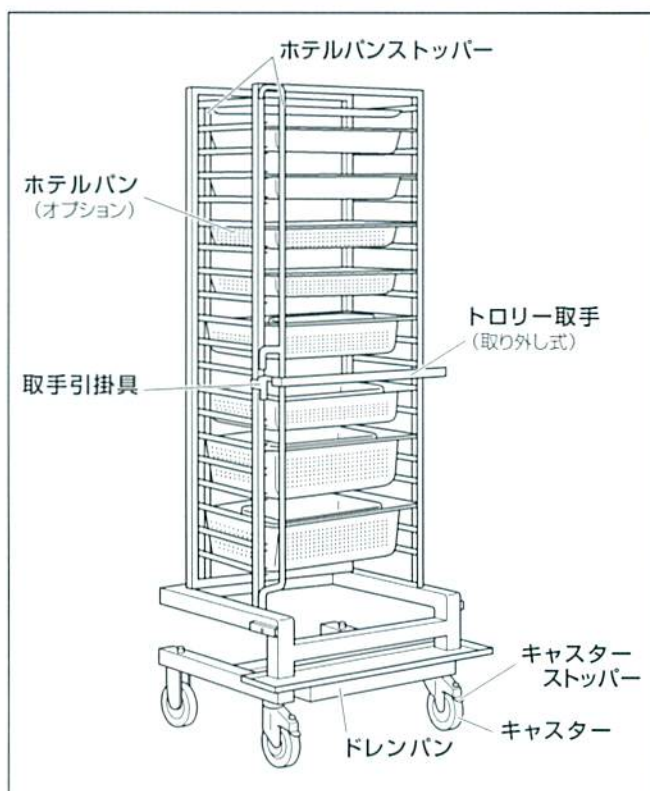
❹ グリッド及びホテルパンに食材を並べ、トロリーの棚にセットしてください。

❺ トロリーの前と後ろに各１本ずつある、ホテルパンストッパーを少し持ち上げて内側に回し、ホテルパンを押さえてください。

❻ トロリー取手を、再度取り付けて、トロリーを庫内に収めて、キャスターストッパーをロックしてください。

❼ トロリー取手を外してください。
トロリー取手は、使用する時以外は所定の位置（本体左側面にあるトロリー取手ホルダー）に引っ掛けておいてください。

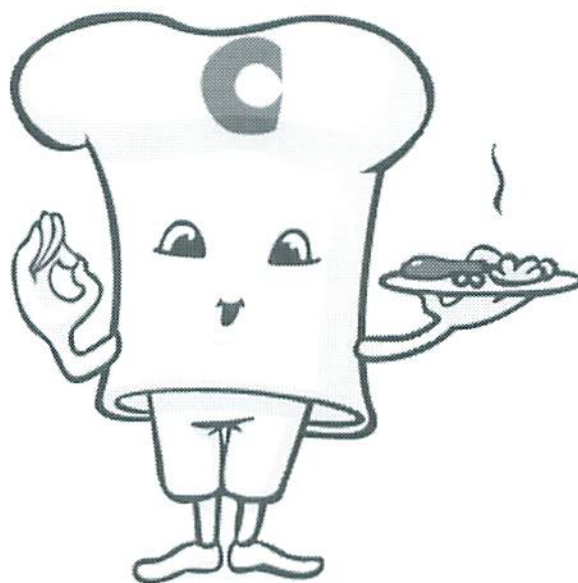
❽ ドアを閉めて調理をしてください。

❾ 調理後は、手順を逆におこなってください。

ホテルパン棚およびトロリーの最大荷重

	最大荷重量	棚一段あたりの最大荷重量
6.10	24kg	10kg/棚
6.20	48kg	10kg/棚
10.10	40kg	10kg/棚
10.20	80kg	10kg/棚
12.20	96kg	10kg/棚
20.10	80kg	10kg/棚
20.20	160kg	10kg/棚

⚠ ●調理終了後トロリーを庫内から引き出す際は、トロリーが熱くなっていますので、やけどをしないよう保護手袋などを着用し、必ずトロリー取手で引き出してください。
ホテルパンストッパーを持ってトロリーを引き出しますと、ストッパーが外れてホテルパンが手前に落下し、やけどやケガの原因になります。

●トロリーは床面が丈夫で平らな場所、傾斜のない場所で使用してください。床面に凹凸があったり、傾斜があるとトロリーが転倒しケガをしたり、故障の原因になります。

●トロリーに耐荷重（160kg）を超える調理物をのせないでください。トロリーにのせるホテルパンには一枚あたりの最大量は4kg以内にしてください。トロリーの故障やケガの原因になります。

エラーメッセージについて

❶ 運転中にトラブルが発生すると、ブザーが鳴り、マルチディスプレイにエラーメッセージが表示されます。本機の運転は停止されます。

❷ エラーメッセージは“E□□”の記号で表示されます。
“□□”に示される数字がエラー（トラブル）部分を表しています。

❸ エラー（トラブル）メッセージの解除方法
1）[スタート/ストップ・スイッチ] を押してブザーを止めてください。
（エラーの内容によって、「スタート/ストップ・スイッチ」を押してもブザーが止まらない場合がありますが、[電源スイッチ] を押してオフにすれば止まります。）
2）[電源スイッチ] を押してオフにしてください。
[電源スイッチ] を押す前に、エラーメッセージの記号をメモしておいてください。
3）トラブルの原因を取り除いてください。
4）[電源スイッチ] を押してオンにしてください。
エラーメッセージ表示が消え、元の状態に戻ります。

《エラーメッセージ内容》

記号	トラブル内容	対　　策
E01	水不足、水圧不足。	◆水道栓が開いていない。 ……水道栓を開いてください。 ◆水圧不足または水道栓を開いてもエラー表示が消えない時は再度、電源を入れ直してください。 ◆OEBは、蒸気発生タンクの自動洗浄の直後に調理を開始すると、エラー表示が出ます。 ……自動洗浄後は、2～3分、時間を空けてから調理を開始してください。 ◆上記の操作をおこなってもエラー表示が消えない場合はお買上げ店にご連絡ください。
E02	プリント板（左側面板内、電装品ボックス）の周囲温度が異常に高くなっている（75℃以上）。	◆マシンの左、後部に熱源があるか、換気が悪い。 ……マシンをしばらく休ませ（停止し）、熱源を離すか、換気を良くしてください。 ◆熱源を離し、換気を良くしてもエラー表示が出る場合は、お買上げ店にご連絡ください。
E03	ファンモーターの保護装置が作動。 ・モータープロテクタ（過電流保護） ・インターナルサーモ（過熱保護）	◆マシンの左後部に熱源があるか、換気が悪い。 ……マシンをしばらく休ませ（停止し）、熱源を離すか、換気を良くしてください。 ◆ファンが正回転していてもエラー表示が出る場合は、お買上げ店にご連絡ください。
E11	庫内温度の異常上昇。	◆お買上げ店にご連絡ください。
E13	過剰スチーム温度	◆お買上げ店にご連絡ください。

記号	トラブル内容	対　　策
E15	凝縮器内の異常温度上昇。(100℃以上)	◆水道栓が閉じられている。 ………水道栓を開いてください。 ◆庫内の排水口にゴミがたまっている。 ………ゴミを取り除いてください。 ◆水道栓を開いても、エラー表示が消えない時は、庫内の排水口にシャワーで水を掛けてください。(凝縮器内の温度を下げるため)それでもエラー表示が消えない時は、お買上げ店にご連絡ください。
E21	庫内温度センサーの故障、または庫内の異常温度	◆お買上げ店にご連絡ください。
E22	芯温センサーの故障	◆お買上げ店にご連絡ください。
E23	蒸気発生タンクセンサー異常(OEBのみ)	◆お買上げ店にご連絡ください。
E24	バイパス管温度センサーの故障、またはバイパス管内異常温度。	◆お買上げ店にご連絡ください。
E25	凝縮器温度センサーの故障、または凝縮器内の異常温度。(①110℃以上) (②0℃以下)	◆水道栓が閉じられている。 ………水道栓を開いてください。 ◆水道栓を開いても、エラー表示が消えない時は、庫内の排水口にシャワーで水を掛けてください。(凝縮器内の温度を下げるため)それでもエラー表示が消えない時は、お買上げ店にご連絡ください。
E26	蒸気発生タンク内、サーモ作動。(OEBのみ)	◆お買上げ店にご連絡ください。
E27	蒸気発生タンク異常加熱(OEBのみ)	◆お買上げ店にご連絡ください。
E29	温度センサーの故障	◆電源スイッチを入れ直してください。それでもエラー表示が消えないときは、お買上げ店にご連絡ください。
E33	蒸気発生タンクヒーターの故障(OEBのみ)	◆お買上げ店にご連絡ください。
E34	蒸気発生タンクポンプの故障(OEBのみ)	◆お買上げ店にご連絡ください。
E80	IDエラー	◆お買上げ店にご連絡ください。
E83	操作PCBとコントロールPCB間でソフトの互換性がない。	◆お買上げ店にご連絡ください。
E95	プリント基板のハードウェアとソフトウェアの互換性が無い。	◆お買上げ店にご連絡ください。
E96	プリント基板間の接続および通信不良。	◆お買上げ店にご連絡ください。

◆上記以外のエラーメッセージ(例えば、E81、E82、E89 等)が出た場合も、お買上げ店にご連絡ください。

6 クックブックを使用する

●複数の調理プログラムを組み合わせてレシピとして保存することができます。
●最大250のレシピが保存できます。
●１つのレシピには、最大20ステップの調理プログラムが保存できます。
●実際に調理をおこないながら内容を記録し、その後でクックブックに登録することもできます。

レシピを作成する

1 新規レシピ を選択します。

❶［編集/書き込みスイッチ］ を押してください。
❷［新規レシピ］ を選択してください。

❸［編集/書き込みスイッチ］ を押してください。
すべての調理モードスイッチが点滅して、マルチディスプレイ上部に第1ステップを意味する「01/01」が表示されます。

01/01

2 ［調理モードスイッチ］、、、いずれかを押して、庫内温度や調理時間、芯温設定などをおこないます。

設定については、「各調理モードを使用する」を参照してください。
この時にMr.Cスイッチを押して「プリヒーティング」などの補助機能を設定することができます。

3 ［編集/書き込みスイッチ］ を押します。

最初のステップが確定しました。すべての調理モードスイッチが点滅して、マルチディスプレイ上部に第2ステップを意味する「02/02」が表示されます。

4 2ステップ以上の工程が必要な場合は、操作 2 、 3 を繰り返します。

最大20ステップまで、設定可能です。

5 入力を終えるには、調理モードスイッチが点滅状態のときに、［編集/書き込みスイッチ］ を押します。

6 レシピ名を入力します。

❶ 保存するレシピの名称を設定してください。
［左右スクロールスイッチ］◁、▷ で入力位置を選択してください。［設定ダイヤル］ で入力する文字（カタカナ、アルファベットの大文字、小文字、数字、記号）を選択してください。

太いバーの位置に文字が入力されます。

メモ

文字は63文字まで入力できますが、プログラム番号選択（下の 7 の図参照）では表示文字数が制限されます。カタカナでは、大文字のみでは最初の12文字、小文字のみでは最初の15文字までの表示になります。アルファベットでは、大文字のみでは最初の15文字、小文字のみでは最初の20文字までの表示になります。

❷ ［編集/書き込みスイッチ］ を押してください。

7 レシピを保存するプログラム番号を選択します。

❶ ［設定ダイヤル］ を使用して、プログラム番号を選択してください。
プログラム番号は001～246まで使用できます。すでに使用されているプログラム番号を選択すると、上書きされます。

➡001 ポテトムシ
002 ローストビーフ

メモ

プログラム番号247～249は夜間調理プログラム、プログラム番号250は庫内クリーニングプログラムが設定されています。
特に理由がない限り上書きしないようにしてください。

❷ ［編集/書き込みスイッ］ を押してください。
レシピがクックブックに保存されました。

8 スタンバイ状態に戻るには、［クックブックスイッチ］ を押します。

メモ

- レシピの中にプリヒーティング、デルタTクッキング、クック&ホールドを組み込むことができます。
- レシピの中にアド・モイスチャー機能を組み込むことはできません。
- 保存したレシピの内容を確認するには、［Mr.Cスイッチ］ を押してください。元に戻るには、再度［Mr.Cスイッチ］ を押してください。
- 個々のステップをチェックするには、［左右スクロールスイッチ］◁、▷ または［設定ダイヤル］ を使用してください。
- すでに使用されているプログラム番号を選択すると、新しいレシピが古いレシピに上書きされます。

6 クックブックを使用する

レシピに便利な機能を組み込む

レシピにプリヒーティング（予熱）を組み込む

1 新規レシピ を選択します。

❶［編集/書き込みスイッチ］ を押してください。

❷［新規レシピ］ を選択してください。

❸［編集/書き込みスイッチ］ を押してください。
すべての調理モードスイッチが点滅して、マルチディスプレイ上部に第1ステップを意味する「01/01」が表示されます。

01/01

2 Mr.Cメニューから［プリヒーティング］ を選択します。

❶［Mr.Cスイッチ］ を押してください。マルチディスプレイに［プリヒーティング］ が表示されます。

❷［Mr.Cスイッチ］ を押してください。

❸「yes」を選択して［Mr.Cスイッチ］ を押してください。これで、レシピの1ステップ目にプリヒーティングが組み込まれました。

3 ［編集/書き込みスイッチ］ を押します。

最初のステップが確定しました。すべての調理モードスイッチが点滅して、マルチディスプレイ上部に第2ステップを意味する「02/02」が表示されます。

4 2ステップ目の設定をおこないます。

［調理モードスイッチ］ 、 、 、 いずれかを押して、庫内温度や調理時間、芯温設定などをおこなってください。
設定については、「各調理モードを使用する」を参照してください。

5 [編集/書き込みスイッチ] ✎ を押します。

2ステップ目が確定しました。すべての調理モードスイッチが点滅して、マルチディスプレイ上部に第3ステップを意味する「03/03」が表示されます。

6 3ステップ以上の工程が必要な場合は、操作 3 、 4 を繰り返します。

最大20ステップまで、設定可能です。

7 入力を終えるには、調理モードスイッチが点滅状態のときに、[編集/書き込みスイッチ] ✎ を押します。

8 レシピ名を入力し、レシピを保存するプログラム番号を選択します。

通常のレシピを同じ方法でレシピ名を入力し、保存してください。詳しくは「レシピを作成する」の 6 ～ 8 を参照してください。

メ モ

プリヒーティングを組み込んだレシピを実行した場合、プリヒーティングが終了した時点でブザーが鳴り『ドアを開けてください』というメッセージが表示されます。この時はすみやかにドアを開け、調理物を入れてください。ドアが閉められると2ステップ目からの調理が再開されます。

レシピにデルタTクッキングを組み込む

1 新規レシピ を選択します。

❶ [編集/書き込みスイッチ] を押してください。

❷ [新規レシピ] を選択してください。

❸ [編集/書き込みスイッチ] を押してください。
すべての調理モードスイッチが点滅して、マルチディスプレイ上部に第1ステップを意味する「01/01」が表示されます。

01/01

2 [調理モードスイッチ] 、 、 、 いずれかを押します。

3 Mr.Cメニューから[デルタTクッキング] を選択します。

❶ [Mr.Cスイッチ] を押してください。

❷ [左右スクロールスイッチ] ◁ 、▷ または [設定ダイヤル] を使用して、[デルタTクッキング] を選択してください。

❸ [Mr.C スイッチ] を押してください。

❹「YES」を選択して、[Mr.C スイッチ] を押してください。

4 デルタT温度を設定します。

❶ [庫内温度設定スイッチ] を押してください。

❷ [左右スクロールスイッチ] ◁ 、▷ または [設定ダイヤル] を使用して、デルタT温度を設定してください。

● デルタT温度がプリセット値通りでよければ、設定する必要はありません。

デルタT温度　設定芯温

20℃ ΔT 78℃

20℃に設定変更した場合

5 芯温を設定します。

❶ [芯温設定スイッチ] を押してください。
芯温表示部分が反転表示になります。

芯温を75℃に変更した場合

❷ [左右スクロールスイッチ] ◁ 、▷ または [設定ダイヤル] を使用して、芯温を設定してください。
- 芯温がプリセット値通りでよければ、設定する必要はありません。

6 [編集/書き込みスイッチ] を押します。

これでデルタＴクッキングがレシピに組み込まれました。
すべての調理モードスイッチが点滅して、マルチディスプレイ上部に第2ステップを意味する「02/02」が表示されます。

7 入力を終えるには、調理モードスイッチが点滅状態のときに [編集/書き込みスイッチ] を押します。

8 レシピ名を入力し、レシピを保存するプログラム番号を選択します。

通常のレシピと同じ方法でレシピ名を入力し、保存してください。詳しくは「レシピを作成する」の 6 ～ 8 を参照してください。

レシピにクック ＆ ホールドを組み込む

1 [新規レシピ] を選択します。

❶ [編集/書き込みスイッチ] を押してください。

❷ [左右スクロールスイッチ] ◁ 、▷ または [設定ダイヤル] を使用して、新規レシピ を選択してください。

❸ [編集/書き込みスイッチ] を押してください。
各調理モードスイッチが点滅して、「01/01」がマルチディスプレイに表示されます。

01/01

2 調理（クック）モードを設定します。

❶ [コンビネーションモードスイッチ] または [熱風モードスイッチ] を押してください。

❷ [庫内温度設定スイッチ] を押して、庫内温度を設定してください。

❸ [調理時間設定スイッチ] または [芯温設定スイッチ] を押して、調理時間または芯温を設定してください。

❹ [編集/書き込みスイッチ] を押してください。これで調理（クック）モードが設定されました。
各調理モードスイッチが点滅して、「02/02」がマルチディスプレイに表示されます。

02/02

3 保温（ホールド）モードを設定します。

❶ [Mr.Cスイッチ] を押してください。

❷ [左右スクロールスイッチ] ◁ 、▷ または [設定ダイヤル] を使用して、[クック&ホールド] を選択してください。

❸ [Mr.Cスイッチ] を押してください。

❹「YES」を選択して、[Mr.Cスイッチ] を押してください。

❺ [左右スクロールスイッチ] ◁ 、▷ または [設定ダイヤル] を使用して、保温温度を設定してください。

❻ [編集/書き込みスイッチ] を押してください。
保温（ホールド）モードが設定されました。

4 入力を終えるには、調理モードスイッチが点滅状態のときに [編集/書き込みスイッチ] を押します。

5 レシピ名を入力し、レシピを保存するプログラム番号を選択します。

通常のレシピと同じ方法でレシピ名を入力し、保存してください。詳しくは「レシピを作成する」の 6 ～ 8 を参照してください。

調理内容を記録する

●調理内容を記録するときに使います。調理中におこなった温度や時間の変更について20ステップまで記録されます。
●記録した調理内容は後でクックブックに登録することができます。

調理内容を記録する

1 ［記録］を選択します。

❶［編集/書き込みスイッチ］を押してください。
マルチディスプレイに選択可能なメニューが表示されます。

❷［左右スクロールスイッチ］◁、▷ または［設定ダイヤル］を使用して、［記録］を選択してください。

❸［編集/書き込みスイッチ］を押してください。

❹「yes」を選択して［編集/書き込みスイッチ］を押してください。

2 記録したい調理をおこないます。

● 通常の手順で調理をおこなってください。調理中に庫内温度や芯温設定、調理時間を変更した場合は、その内容が20ステップまで記録されます。

メモ

●庫内温度や芯温設定、調理時間を変更した場合は、最低1分間以上、その動作をおこなってください。設定を変更して1分以内に再度変更をおこなった場合、1分以内の動作は記録されません。
●動作中に［スタート/ストップスイッチ］を押した場合、記録されません。
●アドモイスチャー機能は記録されません。

● 記録中はマルチディスプレイに記号が表示されます。

100℃ 1:20

3 記録を終了します。

❶ 調理が終了したら記録を終了してください。［編集/書き込みスイッチ］を押して［左右スクロールスイッチ］◁、▷ または［設定ダイヤル］を使用して［記録］を選択してください。

❷［編集/書き込みスイッチ］を押してください。記録が終了します。

6 クックブックを使用する

記録した調理内容をクックブックに登録する

1 [転送] を選択します。

❶ [編集/書き込みスイッチ] を押してください。
マルチディスプレイに選択可能なメニューが表示されます。

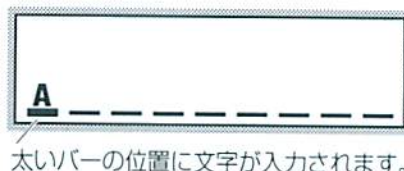
❷ [左右スクロールスイッチ] ◁ 、▷ または [設定ダイヤル] を使用して、[転送] を選択してください。

❸ [編集/書き込みスイッチ] を押してください。

2 レシピ名を入力します。

❶ 保存するレシピの名称を設定してください。
[左右スクロールスイッチ] ◁ 、▷ で入力位置を選択してください。[設定ダイヤル] で入力する文字（カタカナ、アルファベットの大文字、小文字、数字、記号）を選択してください。

太いバーの位置に文字が入力されます。

メモ

レシピ名は63文字まで入力できますが、プログラム番号選択画面（右下図参照）では表示文字数が制限されます。カタカナでは、大文字のみでは最初の12文字、小文字のみでは最初の15文字までの表示になります。アルファベットでは、大文字のみでは最初の15文字、小文字のみでは最初の20文字までの表示になります。

❷ [編集/書き込みスイッチ] を押してください。

3 レシピを保存するプログラム番号を選択します。

❶ [設定ダイヤル] を使用して、プログラム番号を選択してください。
プログラム番号は001～246まで使用できます。すでに使用されているプログラム番号を選択すると、上書きされます。

001 ポテトムシ
002 ローストビーフ
➡**003** キロク1

メモ

プログラム番号247～249は夜間調理プログラム、プログラム番号250は庫内クリーニングプログラムが設定されています。
特に理由がない限り上書きしないようにしてください。

❷ [編集/書き込みスイッチ] を押してください。
レシピがクックブックに保存されました。

4 スタンバイ状態に戻るには、[クックブックスイッチ] を押します。

レシピを実行する

1 [クックブックスイッチ] を押します。

保存されているレシピが表示されます。

2 [設定ダイヤル] で、希望のレシピを選択します。

111 チキン 1
112 チキン 2
113 チキン 3

3 [スタート/ストップスイッチ] を押します。

調理プログラムが開始されます。マルチディスプレイ上部にはレシピ名と調理ステップが、下部には時間と温度が表示されます。

4 レシピの全調理ステップが終了すると、ブザーが鳴ります。

[スタート/ストップスイッチ] を押すか、ドアを開けるとブザーが止まります。

メモ

- 希望のレシピを選択した状態で、[Mr.Cスイッチ] を押すと個々の調理ステップが表示できます。
- レシピは、スタート時間タイマーを使って開始することができます。スタート時間タイマーについては、「スタート時間タイマーを使用する」を参照してください。
- クックブックを使用することによって、最適なレシピを誰でも使用することができます。
- クックブックのレシピは、見つけやすいようにアルファベット順に並べ替えることができます。詳細については「クックブックインデックスを変更する」を参照してください。

レシピを編集する

●クックブックに保存されているレシピは、コピー、削除、編集ができます。
●調理ステップの挿入、削除、追加ができます。

レシピをコピーする

1 クックブックからコピーするレシピを選択します。

❶［クックブックスイッチ］を押してください。
保存されているレシピが表示されます。
❷［設定ダイヤル］を使用して、希望のレシピを選択してください。

2 ［レシピのコピー］を選択します。

❶［編集/書き込みスイッチ］を押してください。
❷［レシピのコピー］を選択してください。
❸［編集/書き込みスイッチ］を押してください。

3 コピーしたいプログラム番号にコピーします。

❶コピー先のプログラム番号を［設定ダイヤル］を使用して、選択してください。
❷［編集/書き込みスイッチ］を押してください。

4 スタンバイ状態に戻るには、［クックブックスイッチ］を押します。

レシピを削除する

1 クックブックから削除するレシピを選択します。

❶［クックブックスイッチ］を押してください。
保存されているレシピが表示されます。
❷［設定ダイヤル］を使用して、希望のレシピを選択してください。

2 ［レシピの削除］を選択します。

❶［編集/書き込みスイッチ］を押してください。
❷［レシピの削除］を選択してください。
❸［編集/書き込みスイッチ］を押してください。
削除されたレシピのプログラム番号は空き状態になります。

3 スタンバイ状態に戻るには、［クックブックスイッチ］を押します。

レシピの調理ステップを編集する

1 クックブックから編集するレシピを選択します。

❶ [クックブックスイッチ] を押してください。
保存されているレシピが表示されます。

❷ [設定ダイヤル] を使用して、希望のレシピを選択してください。

2 [レシピの編集] を選択します。

❶ [編集/書き込みスイッチ] を押してください。

❷ [レシピの編集] を選択してください。
選択には、[左右スクロールスイッチ] ◁ 、▷ または [設定ダイヤル] を使用してください。

❸ [編集/書き込みスイッチ] を押してください。

3 編集する調理ステップを選択します。

調理ステップの選択には、[左右スクロールスイッチ] ◁ 、▷ を使用してください。

02/03
100℃ 0:10

(2ステップ目を選択した場合)

4 調理ステップの内容を変更します。

調理モードや設定値を変更してください。
設定については、「各調理モードを使用する」を参照してください。

02/03
120℃ 0:20

(2ステップ目の設定値を変更した場合)

5 必要なだけ、操作 3 ～ 4 を繰り返します。

❶ [左右スクロールスイッチ] ◁ ▷ を使用して、前後の調理ステップを選択してください。

❷ [編集/書き込みスイッチ] を押してください。レシピ名が表示されます。レシピ名を変更する場合は通常のレシピの入力と同じ方法で入力してください。

6 編集したレシピを保存します。

- 編集したレシピは、従来のレシピの変更として保存するほか、新しいレシピとして保存することもできます。
- レシピの保存については、「レシピを作成する」を参照してください。

7 スタンバイ状態に戻るには、[クックブックスイッチ] を押します。

レシピに調理ステップを挿入/削除/追加する

1 クックブックから編集するレシピを選択します。

❶ [クックブックスイッチ] を押してください。
保存されているレシピが表示されます。

❷ [設定ダイヤル] で、希望のレシピを選択してください。

2 [レシピの編集] を選択します。

❶ [編集/書き込みスイッチ] を押してください。

❷ [レシピの編集] を選択してください。
選択には、[左右スクロールスイッチ] ◁ 、▷ または [設定ダイヤル] を使用してください。

❸ [編集/書き込みスイッチ] を押してください。

3 調理ステップを選択します。

- 調理ステップの選択には、[左右スクロールスイッチ] ◁、▷ を使用してください。
- 挿入する場合は、挿入する1つ後の調理ステップを選択してください。
- 削除する場合は、削除する調理ステップを選択してください。
- 追加する場合は、最後の調理ステップを選択してください。

02/03
100°C 0:10

(2ステップ目を選択した場合)

4 希望の操作(ステップ挿入、ステップ削除、ステップ追加)を選択します。

❶ [Mr.Cスイッチ] を押してください。

❷ [ステップ挿入] 、[ステップ削除] 、[ステップ追加] のいずれかを選択してください。

❸ [Mr.Cスイッチ] を押してください。

❹「YES」を選択して、[Mr.Cスイッチ] を押してください。

❺ 調理ステップを設定してください。
調理ステップを挿入/追加した場合は、すべての調理モードスイッチは点滅状態になりますので、調理モードスイッチを押して、庫内温度や調理時間、芯温設定などをおこなってください。
設定については、「各調理モードを使用する」を参照してください。

❻ [編集/書き込みスイッチ] を押してください。

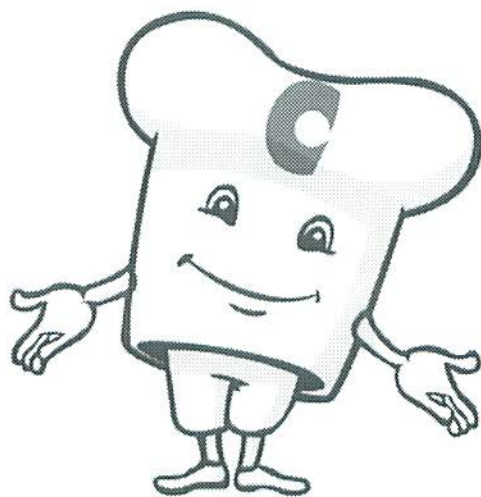
(ステップ挿入を選択した場合)

[編集/書き込みスイッチ] を押します。

ステップを挿入/削除/追加したレシピは、従来のレシピの変更として保存するほか、新しいレシピとして保存することもできます。
レシピの保存については、「レシピを作成する」を参照してください。

スタンバイ状態に戻るには、[クックブックスイッチ] を押します。

メモ

調理ステップは、20ステップまでです。これ以上の挿入/追加はできません。

Press & Go（プレス&ゴー）機能を使う

●クックブックに保存されているレシピのうち、使用頻度の高いものを8つまで、[Press & Go（プレス&ゴー）スイッチ] に登録することができます。（クックブックへの保存も消えずに残っています。）
●[Press & Go（プレス&ゴー）スイッチ] を押すと、すぐに調理がスタートします。
●クリーニングプログラムやプリヒーティング、スーパークリーンシステム（オプション）も [Press & Go（プレス&ゴー）スイッチ] に登録することができます。

保存されているレシピを登録する

1 [クックブックスイッチ] を押します。

❶ マルチディスプレイに保存されているレシピが表示されます。

❷ [設定ダイヤル] を使用して [Press & Go（プレス&ゴー）スイッチ] に登録したいレシピを選択してください。

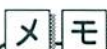
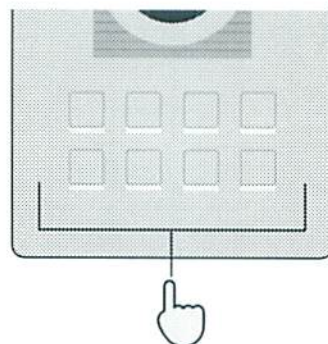
➡**001** ポテトムシ
002 ローストビーフ

2 [Press & Go（プレス & ゴー）スイッチ] に登録します。

❶ 8つある [Press & Go（プレス&ゴー）スイッチ] のうち登録したいスイッチを3秒間押してください。ブザーが鳴り、登録が完了します。

❷ 登録が完了したら付属のアイコンシールを [Press & Go（プレス&ゴー）スイッチ] に貼ってください。

● すでに登録済みの [Press & Go（プレス&ゴー）スイッチ] に上書き（違うレシピを登録する）する場合は、上書きしたいレシピを表示させて [Press & Go（プレス&ゴー）スイッチ] を3秒間押してください。

メモ

クリーニングプログラムを [Press & Go（プレス&ゴー）スイッチ] に登録する場合は、レシピから「250クリーニング」を選択して登録したい [Press & Go（プレス&ゴー）スイッチ] を3秒間押してください。

プリヒーティング、スーパークリーンシステム(オプション)を登録する

1 Mr.Cメニューから［プリヒーティング］または［スーパークリーンシステム］(オプション)を選択します。

❶［Mr.Cスイッチ］を押してください。
マルチディスプレイに選択可能なメニューが表示されます。

プリヒーティングを登録する場合

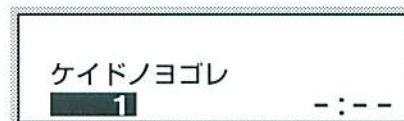
❷［左右スクロールスイッチ］◁ ▷ または［設定ダイヤル］を使用して［プリヒーティング］または［スーパークリーンシステム］を選択してください。

スーパークリーンシステムを登録する場合

❸［Mr.Cスイッチ］を押してください。

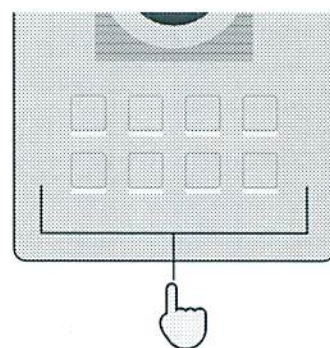
❹「YES」を選択して［Mr.Cスイッチ］を押してください。

プリヒーティングを登録する場合

❺スーパークリーンシステムを登録する場合は洗浄レベル(1～4)を選択して［Mr.Cスイッチ］を押してください。(スーパークリーンシステムの詳細については別冊の「スーパークリーンシステム取扱説明書」を参照してください。)

ケイドノヨゴレ
1 -:--

スーパークリーンシステムを登録する場合

❻8つある［Press & Go(プレス&ゴー)スイッチ］のうち、登録したいスイッチを3秒間押してください。ブザーが鳴り、登録が完了します。

❼登録が完了したら付属のアイコンシールを［Press & Go(プレス&ゴー)スイッチ］に貼ってください。

● すでに登録済みの［Press & Go(プレス&ゴー)スイッチ］に上書き(違うレシピを登録する)する場合は、上書きしたいレシピを表示させて［Press & Go(プレス&ゴー)スイッチ］を3秒間押してください。

スーパークリーンシステム(オプション)を登録できるのはスーパークリーンモデルのみです。

7 便利な機能について

本機は、業務の効率アップのためにいくつかの便利な機能を備えています。ここでは、これらの便利な機能の使用方法について説明します。

- 「スタート時間タイマー」と「プログラムシーケンス」以外の便利な機能を使用するには、[Mr.Cスイッチ]を使用します。
- 調理プログラムが終了すると、「キーロック」以外の便利な機能は自動的に解除されます。
- 「キーロック」以外の[Mr.Cスイッチ]の便利な機能は、[スタート/ストップスイッチ]で、いつでも停止させることができます。

Mr. Cスイッチを使用する便利な機能

プリヒーティング（予熱）機能を使用する

- プリヒーティング機能は、熱風モードの調理前に庫内を予熱することによって調理の品質を高めます。
- クックブックにレシピを登録する場合、プリヒーティングも調理ステップのひとつとして組み込むことができます。(「クックブックについて」を参照してください。)

1 [プリヒーティング機能]を選択します。

❶ [Mr.Cスイッチ]を押してください。
マルチディスプレイに選択可能なメニューが表示されます。

❷ [左右スクロールスイッチ] ◁、▷ または [設定ダイヤル]を使用して、[プリヒーティング機能]を選択してください。

❸ [Mr.Cスイッチ]を押してください。

❹ 「YES」を選択して、[Mr.Cスイッチ]を押してください。プリヒーティングが開始されます。プリヒーティングの温度および時間のプリセット値は190℃、10分です。温度、時間の設定値を変更する場合は、プリヒーティング開始後に以下の操作をおこなってください。

2 [庫内温度設定スイッチ]を押して、プリヒーティング温度を設定します。

設定には、[左右スクロールスイッチ] ◁、▷ または [設定ダイヤル]を使用してください。

3 [調理時間設定スイッチ]を押して、プリヒーティング時間を設定します。

設定には、[左右スクロールスイッチ] ◁、▷ または [設定ダイヤル]を使用してください。

4 プリヒーティングが終了すると、終了を知らせるブザーが鳴ります。

ブザーを止めるには、[スタート/ストップスイッチ]を押すか、ドアを開けてください。